

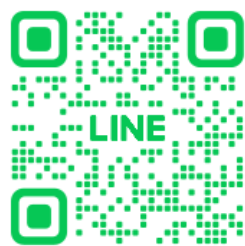


あなたのまち(放課後児童クラブ・児童館)にもサポーターがやってくる!



JIDOサポってなあに？

#JIDOサポは放課後児童応援し隊「サポーター」事業の愛称です。徳島県が令和6年度から始めた新しい取り組みです。放課後児童クラブや児童館などで、こどもたちがさまざまな体験をできるように、地域の大人たち(=サポーター)が活動をサポートします。サポーターは、絵や工作、スポーツ、自然体験など、自分の得意を活かしてこどもたちに「やってみたい!」のきっかけを届けます。
活動にかかる費用は放課後児童クラブ・児童館の負担なし。
県と市から活動を応援する費用がサポーターへ支払われます。こどもたちの放課後が、もっと豊かに、もっと笑顔であふれる時間になるように——。JIDOサポは、そんな地域みんなでこどもを育てる“あたたかい循環”を広げていく事業です。



JIDOサポ公式LINE
お問い合わせ・やり取りが簡単に!

★サポーター募集中!

こどもたちに様々な体験を届ける地域の協力者募集中!
「カテゴリ」は5つ! 魅力的なサポーターが続々と登録してくださっています

学び

スポーツ

クラフト

音楽

その他

こどもたちが
大好きな体験が
いっぱい!



JIDOサポを使おう!

JIDOサポの申請と報告は、とっても簡単!
「A4用紙1枚」にギュッとまとめました。日々忙しい職員の皆さんに負担をかけず、こどもたちに“もっとたくさんの体験”を届けたい。そんな思いから、この仕組みは生まれました。放課後児童クラブや児童館の費用負担はゼロ。県と市の予算を、地域のボランティア活動へと還元し、こどもたちの「やってみたい!」を応援できる仕組みです。だからこそ知ってほしい、そしてぜひ“使って”ほしい。JIDOサポは、徳島のこどもたちを想う皆さんと一緒に未来を育てていくための新しいカタチです。

利用シーン例

行事ごとに!

1日保育の時に!

長期休みに!

学年ごとなど、複数回に分けての申請でもok♪

放課後児童応援し隊「サポーター」事業実施委託者：特定非営利活動法人チルドリン
サイトURL：<https://www.child-rin.com/note/jidosapo-recruitment/>
お問い合わせ：jidosapo@child-rin.com

サポーター派遣の様子

徳島市内の放課後児童クラブ・児童館でサポーター活動を行った様子のご紹介です♪

運動が苦手な子もみんなが参加できる内容で、実施しました。まずはウォーミングアップに軽く走り、まずはひとりで、そして友だちとふたりでキャッチボールをしました。学年をまたいだチーム戦では、転がってくるボールから逃げるゲームをしたり、一列に並んだ状態から、ボールをうまく後ろの友だち運ぶゲームをして、楽しみました。



サポーターのご紹介♪

#スタトレ
阿部一樹 さん



元J2徳島ヴォルティス ゴールキーパー
パーソナルトレーニングジム『FAMIGLIA (ファミリア)』代表・ご自身も民間学童『放課後学童クラブ#スタトレ』を手掛けています。
「人生を歩むとき、大きな力となるのは一生懸命に取り組んだ「体験」そのものです。だからこそ、今しかできない「経験」を子どもたちに沢山贈りたいと、僕は思っています。本気でチャレンジし、失敗をくり返しながら経験したことは、人生を彩る力となります。」今年度限り、サポーターにも登録して頂いています! 来年度から新たな取組をされるということで、本事業サポーターとしてのご活動は最後となります。

実際の体験の様子



体験したこどもたちの声

- 仲間と協力し合って、学年を気にせず、遊べて楽しかったです。まき・ゆき (5年)
- あべコーチがいろいろな運動を用意してくれました。運動は楽しかったです。帰りにあべコーチからサインをもらいました。うれしかったです。りょうたろう (3年)
- あべせんしゅが来てくれて、体を使ってのあそび方を、教えてくれました。わたしが一番心に残ったのは、みんなで力を合わせて、ボールをおとさないように、うしろまでわたすあそびで、33人できょう力できてうれしかったです。千咲 (3年)
- あべさん、きょうたのしくあそんでくれて、ありがとうございました。ボールであそぶのがたのしかったです。りゅうせい (1年)
- あべさん、おしえてくれてありがとうございました。とてもサインかっこよかったです。いぶき (1年)

今回は渭東第一学童保育所さんでのサポーター活動にクローズアップ!

当日は1年生~6年生まで33名のこどもたちが参加してくれました。

申請した放課後児童クラブの先生の声

- 片足立ちでテニスボールのキャッチボールをする際には、低学年の子たちは倒れそうな勢いで頑張っていました。隣の兄ちゃんたちが距離をとってキャッチボールをしているのを見ると、それを真似たように徐々に距離が広がっていき、難しいながらも楽しそうにしていました。
- 学童の子どもたち全員でボールを繋いでいくという遊びがあったが、遊びの中で全員で協力する機会は珍しく、繋げられるか心配していたが、何度かボールを最後まで繋げられており、子どもたちの協調性を再発見できたように思いました。

サポーター申請は、何回でも! お気軽にお問い合わせください♪